



ARCHITREND

リフォームパレット

現況写真を使って、外観や内観のリフォーム後をシミュレーションしてプレゼンボードを作成してみましょう。

ここでは、ARCHITREND リフォームパレットの基本的な操作を紹介します。

1	リフォームパレットの概要	2
2	リフォームパレットの起動と画面まわり	3
3	写真画像の調整	4
4	空間設定	5
5	壁の張替え領域の設定	7
6	外壁の張替え	10
7	住設・サッシの配置	13
8	効果の設定	14
9	プレゼンボードの作成・印刷	16
10	データの保存	21
	付録 1 内装リフォーム	22
	付録 2 立面画像で外装リフォーム	25
	付録 3 パノラマ写真で内装リフォーム	26

1 リフォームパレットの概要

リフォームパレットは、写真から外装や内装のリフォームを簡単にシミュレーションできるツールです。外壁補修の張り替え、エクステリア建材の配置、床の張り替え、家具の置き換えのシミュレーションなどに使用できます。また、シミュレーションした結果をシートに配置して、プレゼンボードを作成することもできます。



写真から作成

リフォームをシミュレーション



使用する写真の注意事項

外観写真は真正面からより、できるだけ側面が見えるアングルが良いでしょう。

シミュレーション結果からプレゼンボードを作成

福井太郎様邸リフォーム工事



ロゴファイル

フクイホ

※ 使用建材



2階軒天・N-65

モール・N-20

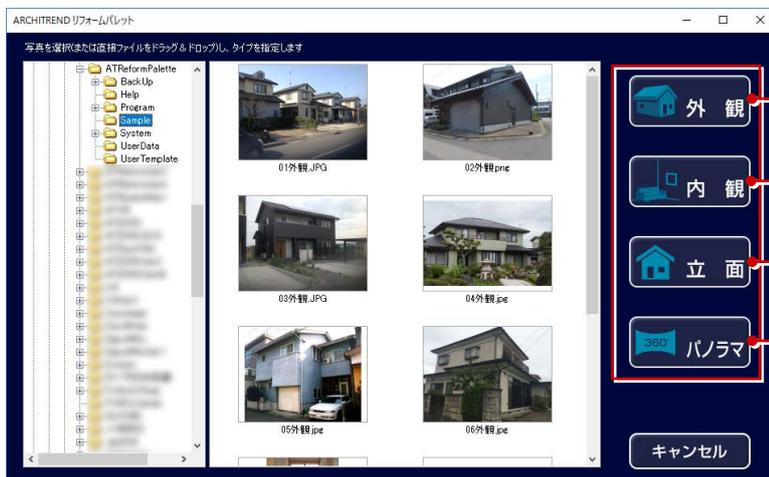
1階廊下・FLOOR COMPUTER
（適用：玄関・ポーチ・バルコニー）
適用

1階廊下・FLOOR COMPUTER
（適用：玄関・ポーチ・バルコニー）
適用

1階廊下・FLOOR COMPUTER
（適用：玄関・ポーチ・バルコニー）
適用

リフォームパレットで可能な作成タイプについて

リフォームパレットでは「外観」「内観」「立面」「パノラマ」の4つのタイプについてシミュレーションが可能です。



- 外観
- 内観
- 立面
- 360° パノラマ

本書では主に外装リフォームの操作について解説していきます。

「付録 1 内装リフォーム」を参照ください。

「付録 2 立面画像で外装リフォーム」を参照ください。

全天球カメラで撮影した写真のリフォームシミュレーションができます。「付録 3 パノラマ写真で内装リフォーム」を参照ください。

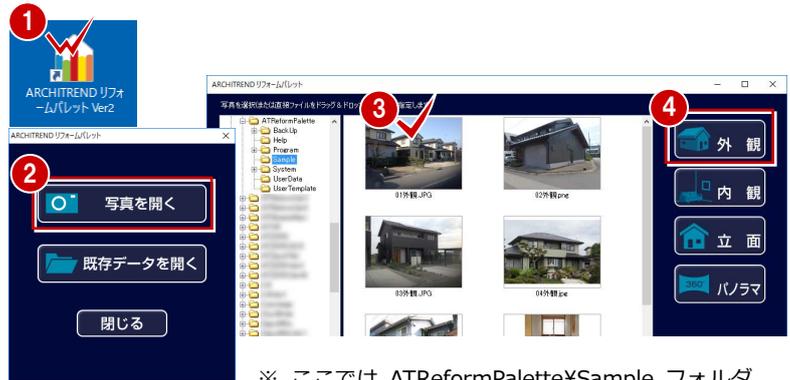
【新規作成時、タイプ選択画面】

2 リフォームパレットの起動と画面まわり

リフォームパレットを起動して、各部の名称や機能について確認してみましょう。

リフォームパレットを起動する

- 1 リフォームパレットのアイコンをダブルクリックします。
- 2 「写真を開く」をクリックします。
- 3 4 現場写真を選択し、「外観」をクリックします。
リフォームパレットが起動します。



※ ここでは ATReformPalette¥Sample フォルダ内の「01 外観.JPG」を選択します。

画面まわりを確認する

クイックアクセスツールバー

上書き保存、アンドウ、リドゥなどのよく使うコマンドがまとめられています。

タブ

リボン

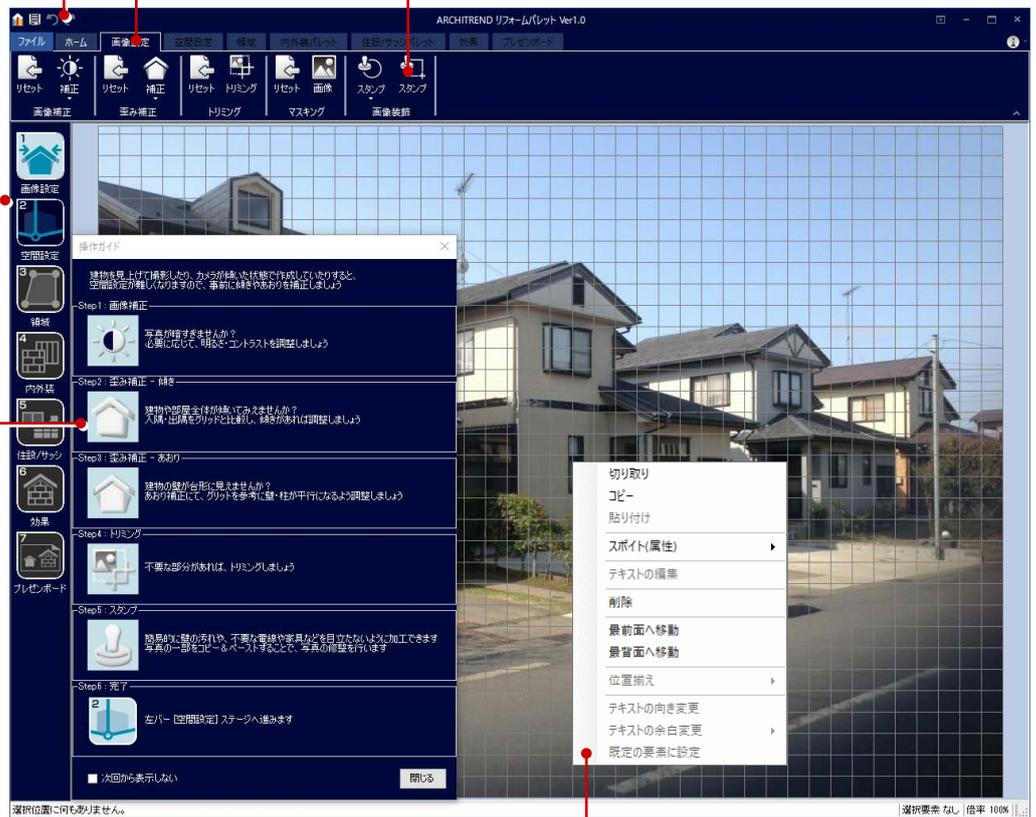
コマンドが種類別にタブにまとめられています。

専用コマンド

基本的に 1~7 の順に操作を進めていきます。

操作ガイド

「画像設定」「空間設定」で操作するときに表示されます。基本的な確認事項と操作の流れを表示しています。



ポップアップメニュー

マウスの右クリックで表示されます。

画面の拡大・縮小について

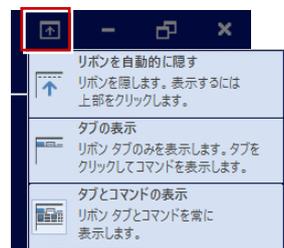
マウスの両ボタンドラッグやマウスホイールによる画面操作が使用できます。また、キーボードのZキーを押して拡大、もう一度Zキーを押して元の画面サイズに戻すこともできます。

操作を間違ったときは

クイックツールバーの で1つ前の操作へ戻すことができます。また、戻した操作は、 でやり直すことができます。元に戻す操作の最大数は50回です。

操作画面の表示の違いについて

画面右上の「リボンの表示オプション」から表示される3つのタイプを切り替えることで、タブやコマンドの表示状態が変わり、操作画面の広さを変更できます。



3 写真画像の調整

建物が傾いていたり、歪んでいたり、汚れなどがある写真を使用した場合、この後のシミュレーションに影響します。また、不要な部分があればカットして必要な範囲にするなど、まずは使用する写真画像を整えておきましょう。

※ 本書ではトリミングのみおこないます。

トリミング

- 1 「トリミング」をクリックします。
- 2 ドラッグして必要な範囲だけ表示されるようにトリミングします。



画像設定の機能

<p>リセット 補正 画像補正</p>	<p>明るさ 30 コントラスト 50</p> <p>写真が暗いときは、明るさやコントラストを調整します。</p>	
<p>リセット 補正 歪み補正</p>	<p>傾き -15.0 あおり 0.0</p> <p>写真が傾いているときは、建物が垂直になるように傾きを調整します。</p> <p>傾き 0.0 あおり -45.0</p> <p>写真の建物が台形に歪んでいるときは、建物が垂直になるようにあおりを調整します。</p>	
<p>リセット トリミング トリミング</p>	<p>写真に不要な部分があるときは、必要な範囲だけ表示するようにトリミングします。</p>	
<p>リセット 画像 マスク</p>	<p>他の画像処理ソフトでマスクしたデータがあるときは、「画像」からファイルを指定して取り込むことができます。</p>	
<p>スタンプ スタンプ 画像装飾</p>	<p>壁面に汚れや不要な要素があるときは、きれいな範囲をコピーして、その部分に貼り付けて除去します。</p>	<p>汚れを除去</p>

4 空間設定

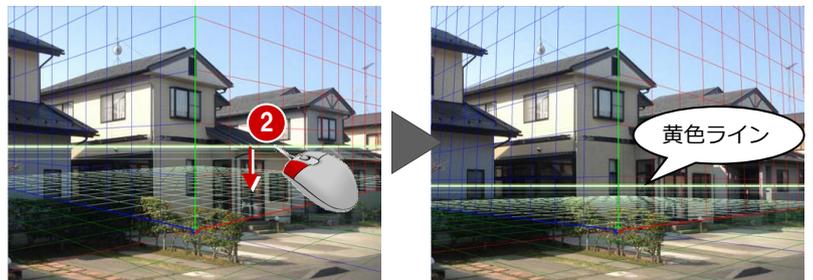
壁の柄や住設機器など、正しいサイズで張り替え、配置ができるように、操作ガイドの Step1~Step 6 の流れで空間を設定していきましょう。

建物の空間を決める

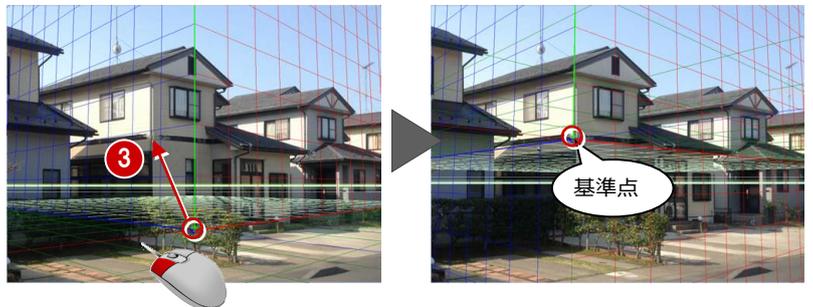
- 1 「空間設定」をクリックします。
トリミングした画像が画面全体に表示されます。



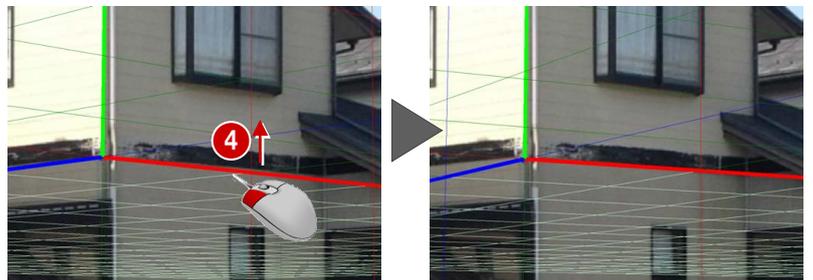
- 2 黄色のラインをドラッグで移動します。
※ 目安は目の高さ（地平線）をイメージしてラインを移動します。



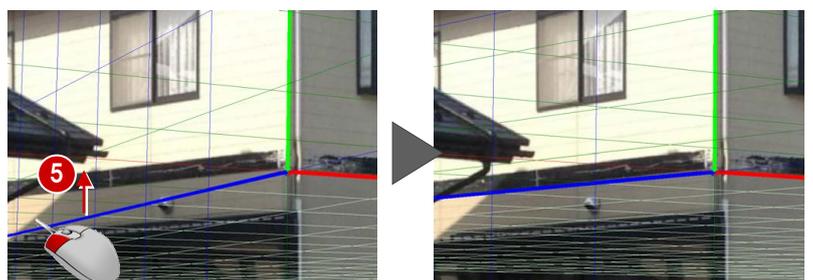
- 3 赤色・青色のラインを設定するために、合わせやすい位置に基準点をドラッグで移動します。
ここでは正面を赤色ライン側、左側面を青色ライン側とし、モールの角に基準点を移動します。



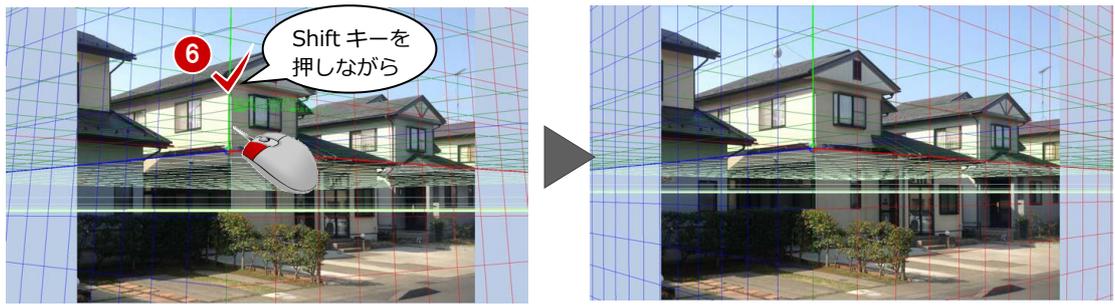
- 4 赤色ラインを建物の部材、（ここではモール）に合うように、ドラッグします。
※ 操作しやすいように適宜画面を拡大して合わせます。



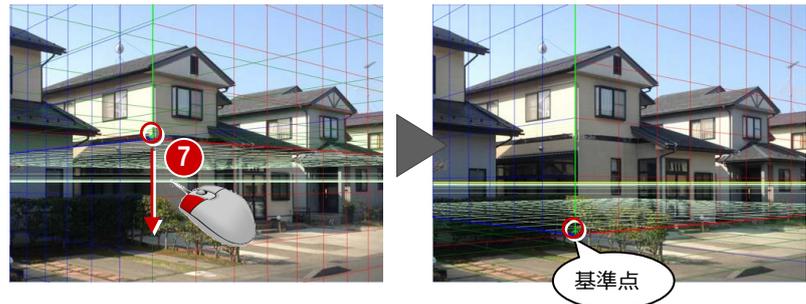
- 5 青色ラインを建物の部材、（ここでは左側面のモール）に合うようにドラッグします。



- ⑥ 緑色ラインが垂直になるようにマウスをライン上に移動して、Shift キーを押しながらクリックします。



- ⑦ 基準点を GL の位置にドラッグで移動します。
- ※ Shift キーを押しながらドラッグすると、垂直・水平に移動できます。
 - ※ 後で自動車などを配置する場合は、基準点の位置が GL となります。



寸法を設定する

軒高やサッシの寸法など、実寸がわかる直線距離を 2 点指定して、写真の建物にサイズを設定しましょう。

- ① 「位置指定」をクリックします。
- ② 「実寸設定」ダイアログで実際の寸法の値を入力します。
ここでは 2 階のサッシ寸法「1100」を使用します。
- ③ 実寸を設定する 2 点（ここではサッシの上端と下端）を順にクリックします。



5 壁の張り替え領域の設定

写真上で張り替えたい領域を設定します。赤色・青色ラインの面ごとに張り替え領域を指定していきましょう。

赤色ライン面に領域を設定する

－矩形で領域を設定する－

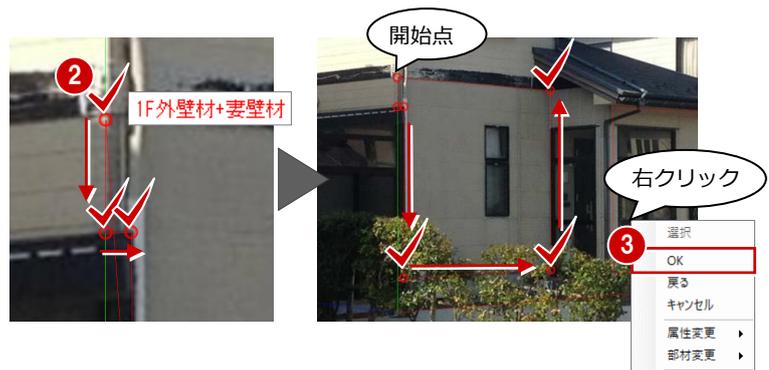
- 1 「領域」をクリックします。
- 2 リボンの「領域」がON、「矩形」がONになっていることを確認します。
- 3 玄関の外壁面の領域を対角にクリックします。



－多角形で領域を設定する－

- 1 リボンの「領域」がONの状態です。「多角形」をクリックします。
- 2 マウスに赤色で「1F 外壁材+妻壁材」と表示されていることを確認して、開始点から順にクリックしていきます。

※ 適宜拡大しながら進めましょう。



青色で表示された場合 1F 外壁材+妻壁材
「編集」グループの「属性」を変更します。入力したい色の面に切り替えることができ、「部材」も指定して入力できます。

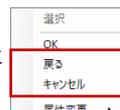


- 3 最後は右クリックして「OK」を選び、領域を閉じます。

※ 開始点と同じ位置をクリックしても領域は閉じます。

クリックする位置を間違えたら

ポップアップメニューの「戻る」、最初から領域をとりなおしたいときは「キャンセル」を選びます。



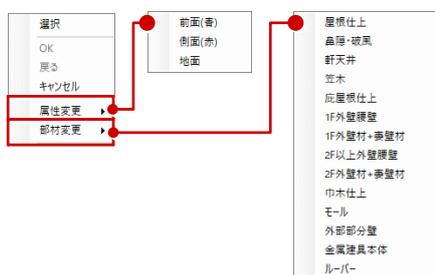
- 4 続けて「編集」グループの「属性」「部材」を設定して、2階の外壁の領域を設定します。



- 5 同様にして、軒天井、妻壁の領域も設定します。

● 「部材」の設定は「素材一括」(⇒P.11 参照)を行う際に利用します。

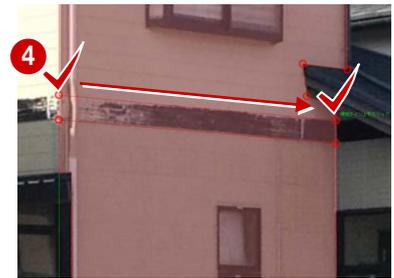
「属性」や「部材」の指定は、ポップアップメニューからも設定できます。



領域を編集する

ここでは2階の領域を外壁とモールに分割してみましょう。

- ① 「領域選択」をクリックします。
- ② 2階の外壁の領域を選択します。
- ③ ポップアップメニューから「領域分割」を選びます。
- ④ 写真のモールを確認しながら分割点をクリックします。
- ⑤ 「属性」を「側面(赤)」、「部材」を「モール」に変更すると、分割した領域の属性がモールに変更されます。



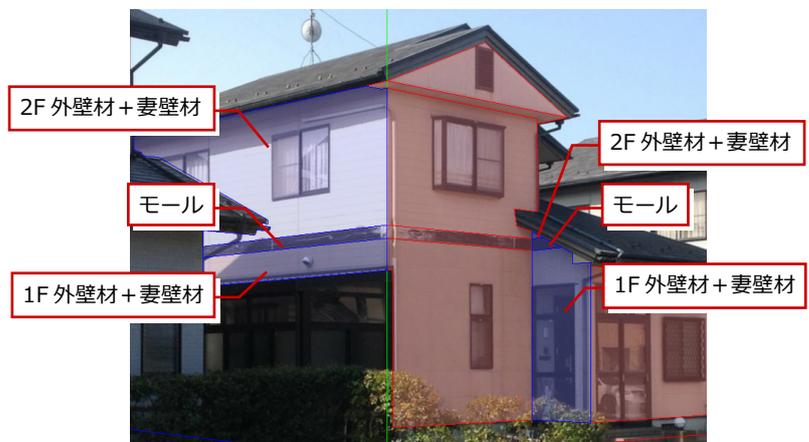
その他の領域の編集

- ・ポイントの移動は○印を移動先にドラッグします。
- ・ポイントの追加はポップアップメニューの「ポイント追加」を選び、領域のライン上をクリックします。
- ・ポイントの削除はポップアップメニューの「ポイント削除」を選び、削除したいポイントをクリックします。



青色ライン面に領域を設定する

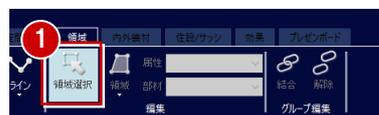
赤色ライン面の領域設定と同様にして、青色ライン面に領域を設定していきましょう。



グループを編集する

ここでは1階の外壁をまとめて同じ素材に変更できるように、領域を1つのグループにしてみましょう。

- ① 「領域選択」をクリックします。
- ② Ctrl キーを押しながらグループにする領域を全て選択します。
- ③ 「結合」をクリックします。
※「解除」をクリックすると個別の領域に戻ります。
- ④ 同様にして、モール、2階の領域も結合しましょう。

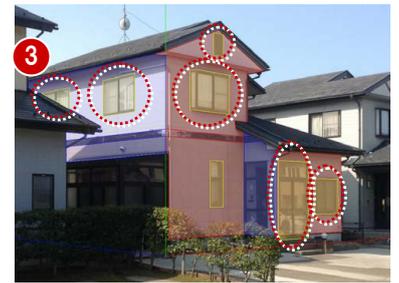
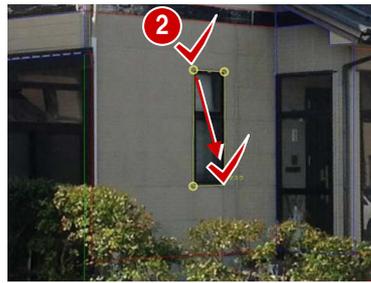


マスク領域を設定する

マスクは写真画像を優先的に表示します。張り替え領域内でリフォーム対象としない範囲にマスク領域を作成してみましょう。

－建具のマスク領域を設定する－

- 1 「マスク」をクリックして、「矩形」が選ばれていることを確認します。
- 2 建具の範囲を対角にクリックしてマスク領域を設定します。
- 3 同様にして、他の建具も設定します。
(妻飾りも含め残り 6 カ所)



－樹木のマスク領域を設定する－

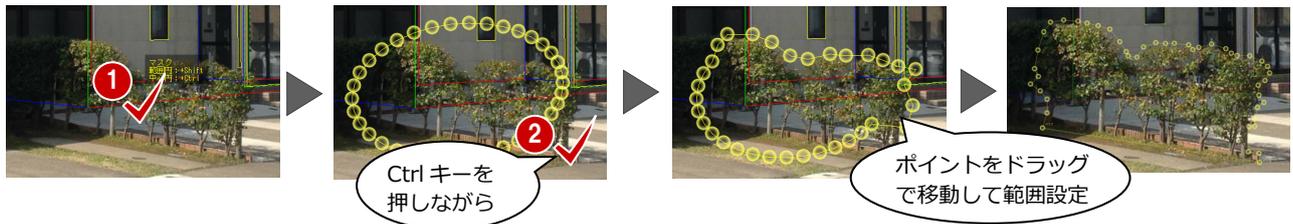
- 1 「多角形」をクリックします。
- 2 樹木の周りを順にクリックして領域を設定します。

※ 細部は後で処理するので (⇒ P.14)、大まかな範囲でかまいません。



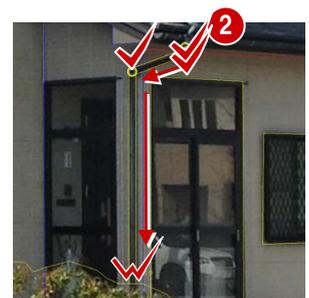
マスクや領域を円形入力で設定する場合

リボンの「矩形」を使って円形入力が可能です。1 点目をクリックした後、Shift キーや Ctrl キーを押すと円形入力になります。マスクや領域をざっくりとした範囲で指定できます。



－樋のマスク領域を設定する－

- 1 「ライン」をクリックして、太さを選択します。
- 2 樋の上をクリックしていき、最後はダブルクリックすると入力が終わります。
- 3 同様にして、他の樋のマスク領域も設定します。(残り 2 カ所)



マスクから領域に

「編集」グループの「マスク」からは、「領域」と「マスク」の属性グループの変更が可能です。



領域の表示順位を変更する場合

領域が重なっている場合に、ポップアップメニューの「最前面へ移動」「最背面へ移動」で表示順位を変更できます。また、「ホーム」タブからも変更できます。



6 外壁の張り替え

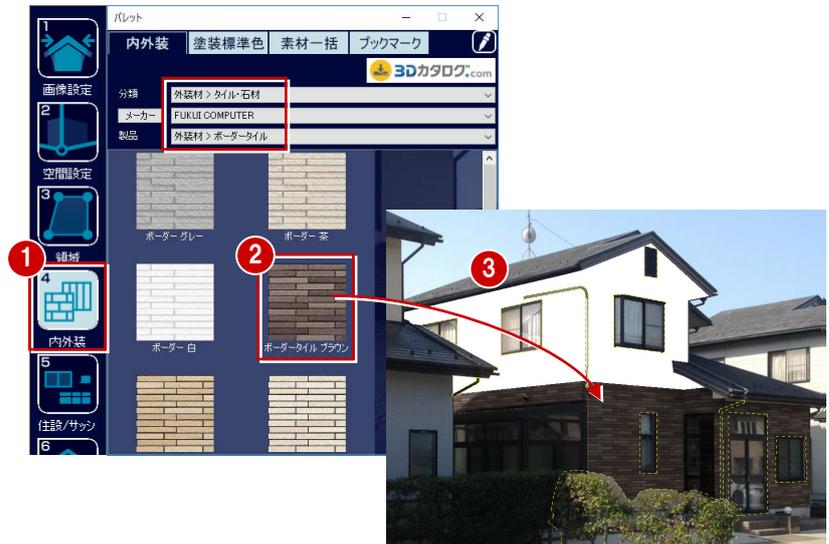
素材をドラッグ&ドロップで張替えてリフォーム後をシミュレーションしてみましょう。また、張り替え後に素材の目地合わせなどもおこなってみましょう。

壁の素材を変更する

－内外装材から選択して変更する－

ここでは1階の外壁、2階の外壁、妻壁の素材を変更してみましょう。

- ① 「内外装」をクリックします。
- ② 「パレット」ダイアログで素材を選択します。ここでは、次の素材を選びます。
 分類：タイル・石材
 メーカー：FUKUI COMPUTER
 製品：ボーダータイル
 品名：ボーダータイル ブラウン
- ③ 1階の外壁にドラッグ&ドロップします。
 ※ P.8「グループを編集する」で1階外壁の領域を結合しているため、まとめて素材が変更されます。
- ④ 同様にして2階の外壁と妻壁の素材を変更しましょう。
 分類：窯業系サイディング
 メーカー：FUKUI COMPUTER
 製品：横張り
 品名：サイディングC ベージュ



1階と同じ素材を使用したいときは

「パレット」ダイアログの「スポイト」を選び、変更した1階の外壁上でクリックします。「パレット」ダイアログで同じ素材が選択された状態になります。

3Dカタログについて

ARCHITREND リフォームパレットは3Dカタログマスタのみの対応となり、Archi Masterは使用できません。また、3Dカタログ有料会員契約が無い場合はバンドルマスタのみの利用となり、メーカー建材の利用には別途契約が必要となります。

－塗装標準色から選択して変更する－

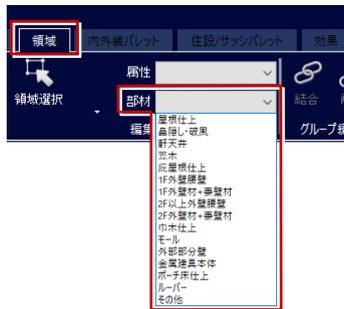
モールと軒天井の素材を塗装標準色から変更してみましょう。

- ① 「パレット」ダイアログの「塗装標準色」をクリックします。
- ② 色を選択して、モールと軒天井にドラッグ&ドロップします。
 塗装用標準色：2019年 K版
 色相系統から絞込み：N系
 モール：N-20、軒天井：N-65



素材一括から変更する場合

「素材一括」ではグループ別に素材パターンが登録されています。
パターンを選んでドラッグ&ドロップすることで、領域に設定した「部材」の情報と一致する素材がまとめて変更されます。



※ 素材パターンは 3D カタログマスタで編集できます。

- 01 ナチュラルベージュック
- 02 シンプル
- 03 スタイルリッチ
- 04 和風モダン
- 05 プロヴァンス
- 06 トラディショナル



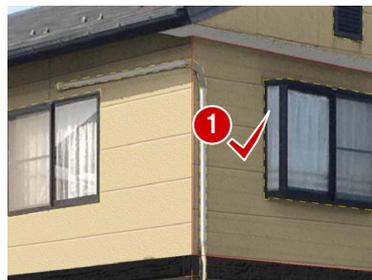
「各素材」に表示される素材を個別に選んでドラッグ&ドロップで変更も可能です。

素材を編集する

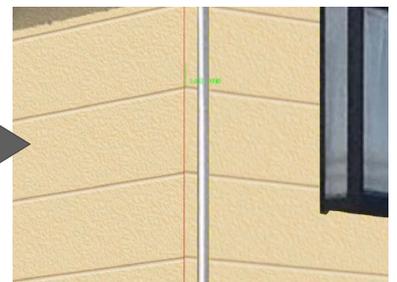
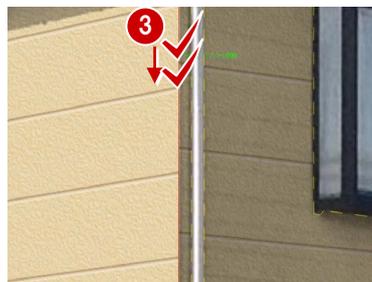
2階の外壁の目地を合わせてみましょう。ここでは「位置」グループの「マウス」を使用します。

- 1 外壁を選択します。
- 2 「マウス」をクリックします。
- 3 目地の1点目をクリックして、移動先をクリックします。
- 4 素材の編集が終わったら「プレビュー」をクリックして画像を確認します。マスクなどの線が非表示になり、印刷するときの状態が確認できます。

※ 「元画像」を選ぶと写真が表示されるので、リフォーム前を確認しながら操作が可能です。



「横」「縦」の数値で合わせることも可能



内外装パレットの機能

※ 処理を初期化する場合各グループの「リセット」をクリックします。



	<p>4点をマウスで指定したり、「比率」に数値を設定して目地のサイズを変更します。</p>	
	<p>2点をマウスで指定したり、「横」「縦」に数値を設定して目地を移動します。</p>	
	<p>マウスで基準を指定したり、角度を選択したまま数値を設定して目地を回転します。</p>	
	<p>屋根など勾配のある面に対して素材を編集する場合に、勾配を選択、または数値を設定します。</p>	
	<p>奥行きや遠近の距離の違いを表現する場合に、目地の方向や傾きを設定します。</p>	
	<p>「パレット」ダイアログの「塗装標準色」を使用した領域を選択した状態のときに有効になります。領域を選択したあと、プルダウンメニューからタイプを選択します。</p>	<p>「塗装標準色」を使用した外壁</p> <p>吹付タイル縦目地を使用した場合</p>
	<p>元画像</p>	<p>作業中に元の写真の状態を確認できます。</p>
<p>編集</p>	<p>作業中は「編集」が選択された状態になります。</p>	
<p>プレビュー</p>	<p>印刷するときの状態を確認できます。</p>	

7 住設・サッシの配置

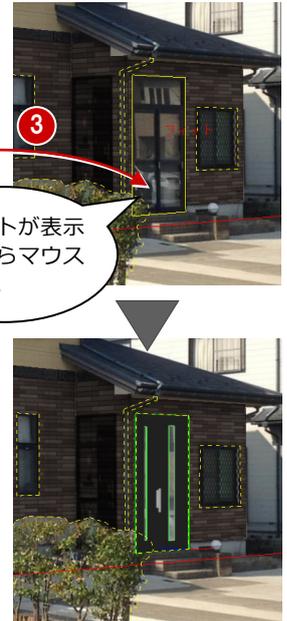
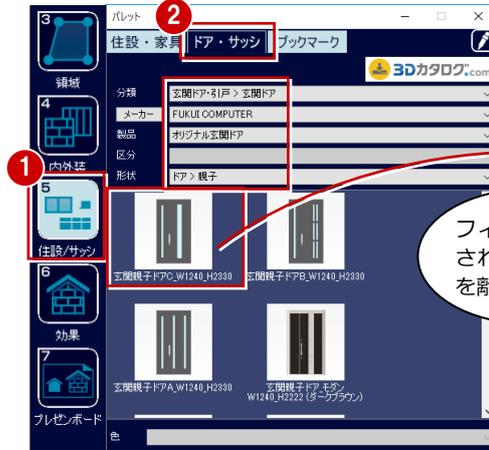
住設機器、エクステリアなどの部品、ドア・サッシなどの建具を配置しましょう。

※ 本書では玄関建具の変更のみおこないます。

建具を変更する

玄関ドアを変更してみましょう。

- 1 「住設/サッシ」をクリックします。
- 2 「パレット」ダイアログの「ドア・サッシ」をクリックして、建具を選択します。
ここでは、次の建具を選びます。
分類：玄関ドア・引戸>玄関ドア
メーカー：FUKUI COMPUTER
製品：オリジナル玄関ドア
形状：ドア>親子



- 3 配置先にドラッグ&ドロップします。
※ フィットした場合は実建材のサイズとは異なるため注意してください。

部品や建具の移動について

配置した部品や建具は以下のようなキー操作で移動できます。

上下左右キー	上下左右に移動します。
上下+Shift キー	奥手前に移動します。
上下左右キー+Ctrl キー	上下左右の移動量が小さく(1/10)なります。
上下+Shift キー+Ctrl キー	奥手前の移動量が小さく(1/10)なります。

樹木などの向き調整について

樹木などを配置した場合に、ポップアップメニューの「部材を正面に向ける」をクリックすると、1操作で正面に向けることができます。



ガラス面の編集について

配置したサッシのガラス面に、空や雲、カーテンなどの映り込みを設定することができます。また、「透過」からガラス面の透過を調整します。



ブックマークについて

「パレット」ダイアログの「ブックマーク」タブを選んで、「追加」をクリックすると、現在の編集画面から素材パターンや住設・サッシなど、全ての編集状態が登録されます。登録したブックマークは、プレゼンボードに配置して複数のリフォームパターンを提示することができます。



【編集画面】

※ 「ホーム」タブからも「登録」「削除」できます。



【内外装】



【住設/サッシ】

8

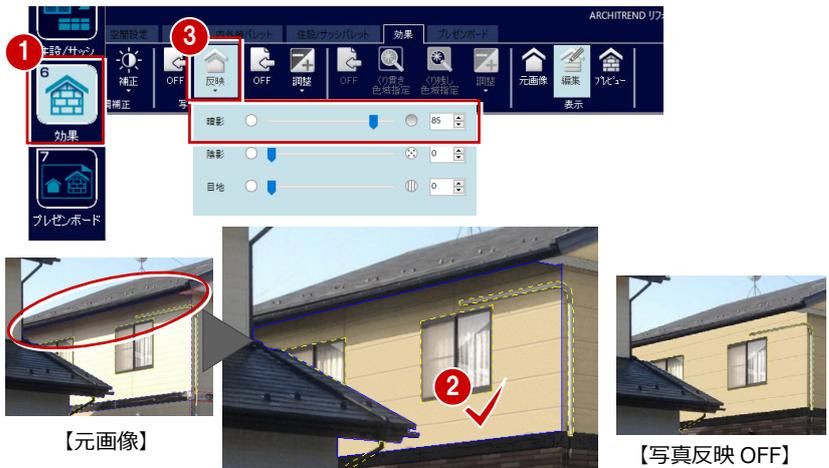
効果の設定

シミュレーションした画像に影をつけたり、マスキング処理をして画像を仕上げていきましょう。

影をつける

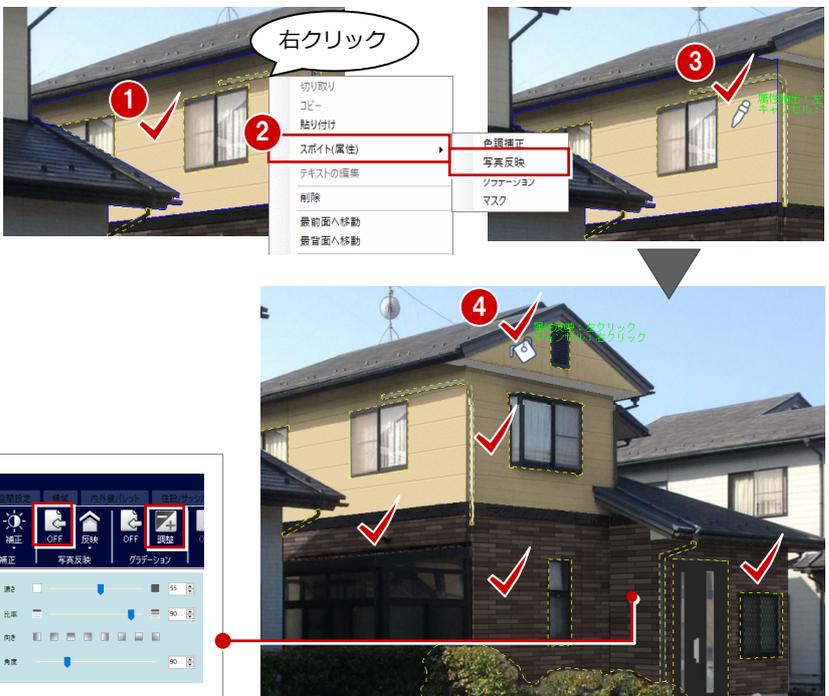
ここでは元画像となる写真の影を利用して、編集中の画像に影をつけてみましょう。

- ① 「効果」をクリックします。
 - ② 影をつける領域を選択します。
 - ③ 「反映」をクリックして、「暗影」のスライダーを移動して値を変更します。
- ※ 暗影・陰影・目地は画像を見ながら値を調整してお好みの状態に仕上げていきます。

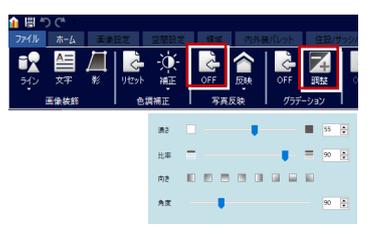


－設定内容を他の領域にも使用する－

- ① 設定した領域を選択します。
- ② ポップアップメニューの「スポイト (属性)」を選んで、先ほど設定した効果の「写真反映」をクリックします。
- ③ スポイトマークが表示されたらもう一度同じ領域をクリックします。
- ④ バケツマークが表示されるので、同じ設定にする領域を順にクリックしていきます。



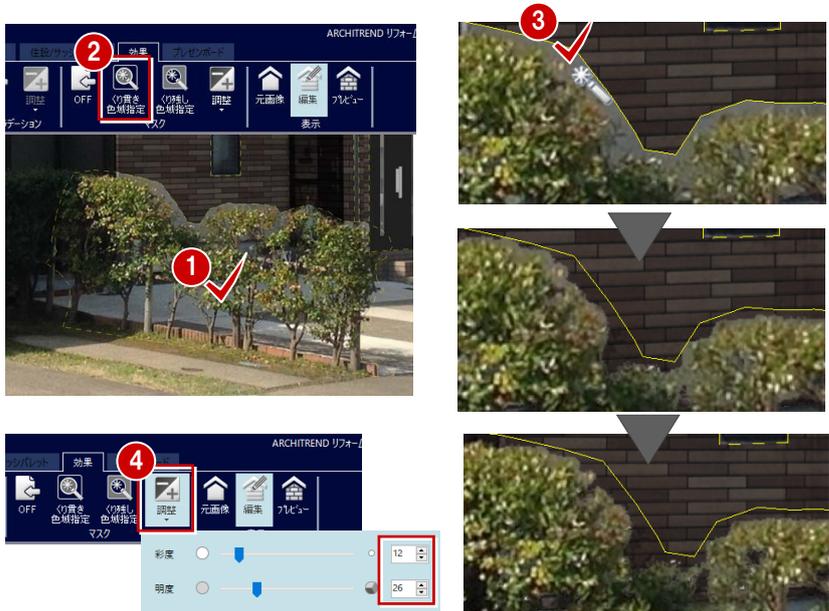
この領域は、元画像の建具が浮か出ないように、「写真反映」はOFFにして、「グラデーション」を次のように調整しています。
(濃さ 55、比率 90、向き 90)



樹木の細部をくり貫く

葉っぱの周りの不要な部分を取り除いてみましょう。

- ① 樹木のマスク領域を選択します。
- ② 「くり貫き色域指定」をクリックします。
- ③ ここでは葉っぱの周りの薄い茶色の部分をクリックします。
指定した色がくり貫かれます。
- ④ 画像を確認しながら「調整」の「彩度」「明度」の値を調整して仕上げます。



効果の機能



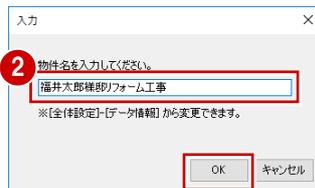
	ライン	表示される「ライン」のタイプを選んで色や太さ、線種、端点の表現などを指定してライン入力ができます。入力すると「図形」タブが開きます。⇒ 図形の編集については、P.20 参照	
	文字	入力する範囲をドラッグで指定、または入力位置をクリックすると、「新しいテキスト」の文字列が表示されるので内容を編集します。そして「テキスト」タブが開きます。⇒ テキストの編集については、P.20 参照	
	影	手で影をつける範囲を指定できます。	
			<p>明度・彩度・色相のスライダーを移動して値を変更します。画像を見ながら値を調整して仕上げていきます。処理を初期化する場合「リセット」をクリックします。</p>
		<p>写真の影を利用して編集中の画像に元画像の影や目地を反映させます。</p>	<p>【写真画像】 【反映 OFF】 【反映あり】</p>
		<p>選択した領域に影の濃さやグラデーションのつけ方などを設定します。「画像装飾」の「影」に対しても有効です。</p>	<p>【グラデーション OFF】 【調整あり】</p>
	くり貫き色域指定	マスク領域を選択した後、くり貫きたい色を指定します。くり貫き処理をやめるときは「OFF」をクリックします。	
	くり残し色域指定	マスク領域を選択した後、くり残したい色を指定します。くり残し処理をやめるときは「OFF」をクリックします。	<p>手摺をくり残し色に指定</p>
	調整	くり貫き、くり残しの色域指定後、画像を見ながら「彩度」「明度」の値を調整して仕上げます。	
	元画像	作業中に元の写真の状態を確認できます。	
	編集	作業中は編集が選択された状態になります。	
	プレビュー	印刷するときの状態を確認できます。	

9 プレゼンボードの作成・印刷

シミュレーションした画像を配置して、プレゼンボードを作成しましょう。

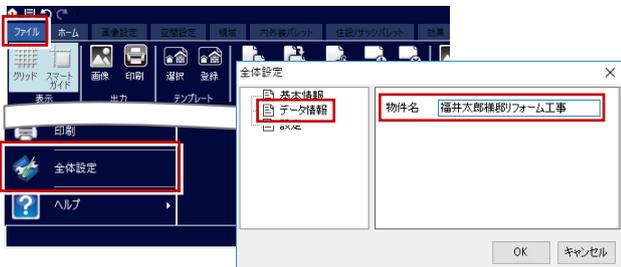
テンプレートを選んで作成する

- 1 「プレゼンボード」をクリックします。
- 2 物件名を入力して「OK」をクリックします。
- 3 テンプレートを選択して、「OK」をクリックします。



物件名の連動について

「ファイル」メニューの「全体設定」から「データ情報」で「物件名」の変更ができます。作業中のプレゼンボードの物件名は変更されません。テンプレートを選びなおしたときに反映されます。



テンプレートを選びなおしたい場合

「テンプレート」グループの「選択」をクリックして、選びなおすことができます。



※ ここではシートを追加して、下図のようにプレゼンボードを編集します。



テキストの変更



引き出し線の追加

建材情報の編集

使用した建材の配置

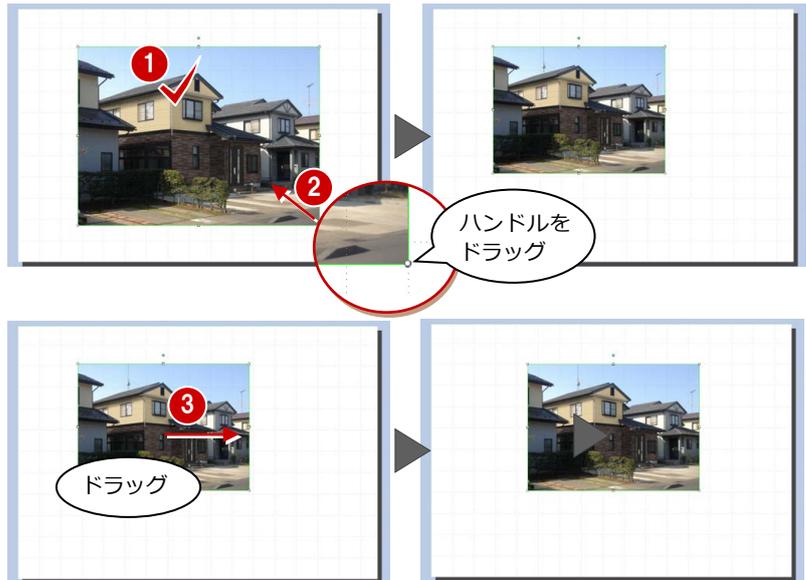
文字列の追加

画像の位置調整

画像のサイズ変更

画像のサイズ・位置を調整する

- ① 画像をクリックして選択します。
 - ② ハンドルをドラッグしてサイズを変更します。
- ※ 選択を解除するときは画面上の何も無いところをクリックします。または Esc キーを押します。
- ③ 画像をドラッグして移動します。



使用した建材の画像を配置する

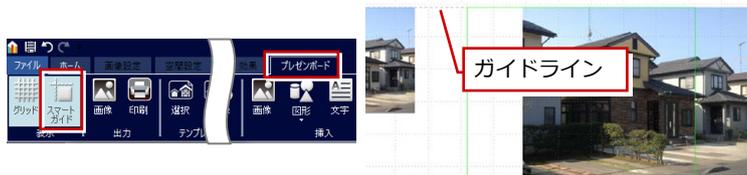
- ① 「アフター」の画像をクリックします。
使用した建材が「パレット」ダイアログに表示されます。
- ※ 追加したブックマークも一緒に表示されます。
- ② シートに配置したい建材を選択してドラッグ&ドロップします。
同様にして、その他の建材もシートに配置します。



物件で使用していない部材の画像を配置するには

「パレット」ダイアログの「内外装」「住設・家具」「ドア・サッシ」をクリックすると、3Dカタログマスタに登録されている建材を配置できます。

ガイドラインについて



「表示」グループの「スマートガイド」が ON の場合、画像などを移動するときに、他の画像との位置関係からガイドラインが表示され、位置を合わせやすくなります。

また、グリッド線もレイアウトの基準となります。初期状態は表示 ON になっているので、不要な場合は「グリッド」をクリックして非表示にします。

位置揃えについて

画像など複数選択している場合、ポップアップメニューの「位置揃え」からタイプを選んで位置を揃えることができます。



位置揃えは「ホーム」タブからも選択できます。



建材情報を編集する

ここでは、建具の品名の途中で改行してみましよう。

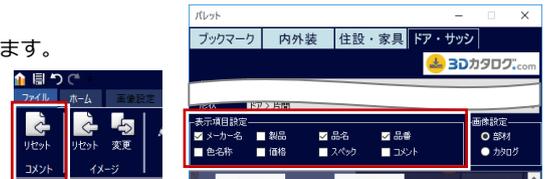
- 1 建材情報の改行したい位置をクリックします。
「カタログ」タブが表示されます。
- 2 Enter キーを押して改行し、スペースキーを押しながら改行した後の文字列を移動します。



建材情報を削除したい場合

建材情報の文字列にカーソルを合わせて Delete キーや Backspace キーで削除します。

なお、建材情報を最初の状態に戻したいときは、「コメント」グループの「リセット」をクリックします。
リセットすると、「パレット」ダイアログの各建材の「表示項目設定」にある項目全てが表示されます。



カタログの画像を変更するには

「イメージ」グループの「変更」を選んで、画像ファイルを選択します。
変更後、最初の画像に戻りたいときは「リセット」をクリックします。

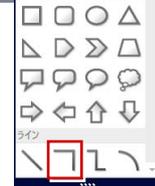
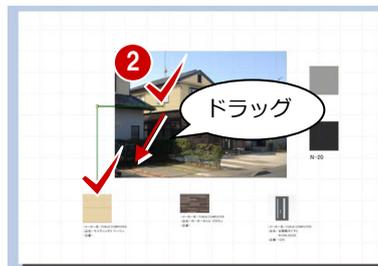


建材情報のフォントなどを変更するには

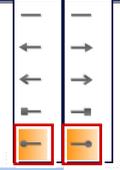
「カタログ」タブの「枠線」「書式」「段落」で建材情報のフォントやスタイル、枠線などを変更できます。

引き出し線を追加する

- 1 「図形」メニューから「ライン」を選びます。
- 2 引き出し線の入力する位置をドラッグで指定します。
引き出し線が入力され、「図形」タブが表示されます。
- 3 「色」をクリックして、引き出し線の色を指定します。
- 4 「始点」「終点」をそれぞれクリックして、引き出し線の端点の形状を指定します。
※ 端点形状の大きさは、線の太さによって自動調整されます。
- 5 同様にして、その他の引き出し線も入力します。

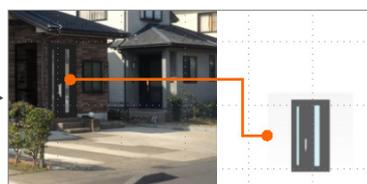
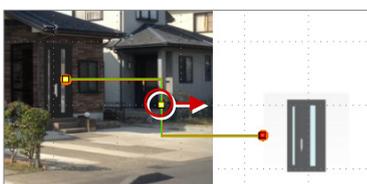


※ ワンクリックで一旦入力した後、ドラッグで移動して配置することもできます。



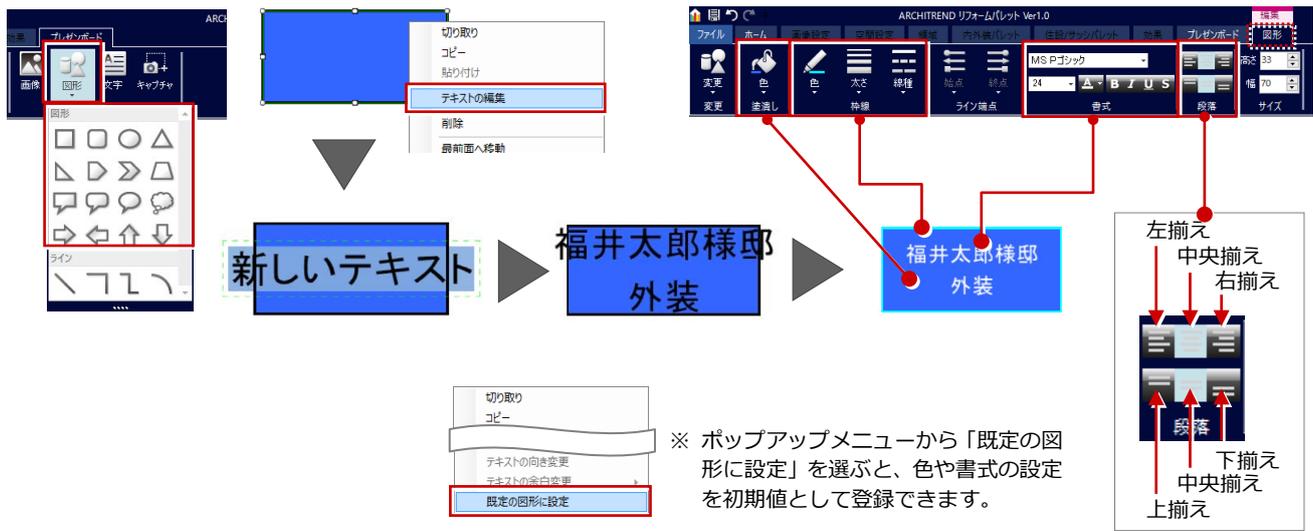
カギ線のクランク位置

中央のハンドルをドラッグすると、クランク位置を変更できます。



図形を入力した場合

「プレゼンボード」タブの「図形」メニューから「図形」の形状を入力した場合は、図形を選択後に右クリックして「テキストの編集」を選ぶと、テキストを追加できます。「図形」タブが表示され、図形形状の変更や、塗潰しの色、枠線の色・太さ・線種、テキストの書式変更などが行えます。



文字列を入力する

- ① 「文字」をクリックします。
- ② 文字列を入力する位置でクリックします。
「新しいテキスト」と入力され、「テキスト」タブが表示されます。
- ③ 「テキスト」タブの「書式」「段落」などを確認して、文字列を入力します。



テキストの編集について

テキストの書式やスタイルの編集は「テキスト」タブで行います。

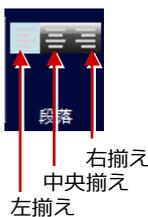
■ 書式

フォントの色、縁の色・幅、枠線の色・幅・線種を、それぞれ設定できます。



■ 段落

複数行テキストの揃え方を設定します。



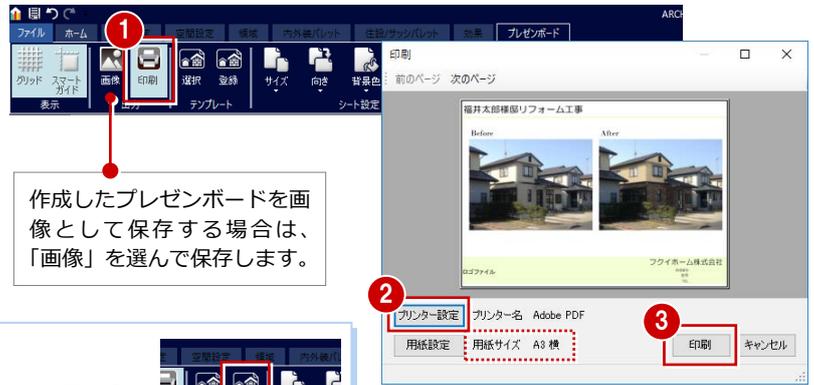
※ テキストボックス右下の緑色のハンドルをドラッグしてフォントサイズを変更できます。



※ ポップアップメニューから「テキストの向き変更」を選ぶと、縦書きにできます。また、「テキストの余白変更」から枠を付けた場合の余白の設定ができます。

プレゼンボードを印刷する

- 1 「印刷」をクリックします。
- 2 「プリンター設定」をクリックして、使用するプリンターを選びます。
- 3 用紙サイズが「A3 横」になっていることを確認して、「印刷」をクリックします。



テンプレートとして保存したい場合

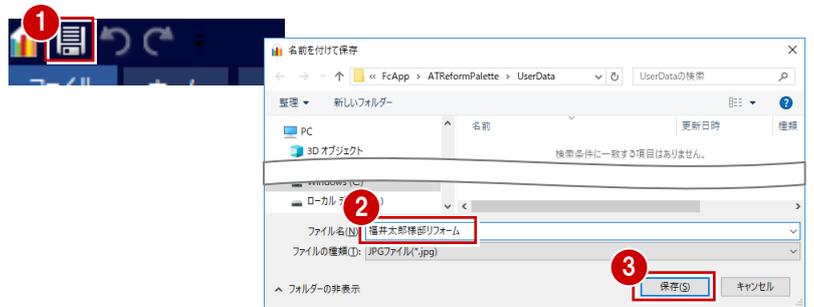
作成したプレゼンボードのレイアウトなどを次回も使用できるように登録するには、「テンプレート」グループの「登録」から登録します。登録後は、テンプレート選択ダイアログの一覧に表示されるので、選択して使用できます。
 ※ ただしユーザーテンプレートは1つだけしか保存できません。登録をするたびに上書き保存になります。



10 データの保存

データを保存する

- 1 「上書き保存」をクリックします。
 - 2,3 ファイル名を入力して、「保存」をクリックします。
- ※ 別名でデータを保存したい場合は、「上書き保存」で保存後、「ファイル」メニューから「名前を付けて保存」を選びます。



「ファイル」メニューからの「印刷」について

「効果」の「プレビュー」で表示される画像が印刷されます。

次回、データを開くときは

「既存データを開く」をクリックします。「ATReformPalette¥UserData」フォルダが開くので、すばやく作成済みのデータを選ぶことができます。



その他のデータ形式で保存する

「ファイル」メニューの「エクスポート」から、次のデータ形式に出力することができます。



■部材リスト

リフォームパレットで使用した建材情報が CSV ファイル (*.csv) で出力され、Excel などで開くと下図のように表示されます。

	A	B	C	D	E	F
1	大項目	中項目	名称	KeyID	HashKey	層数
2	素材	3DCコンテンツ	サイディングC ページュ	-900004145		4
3	素材	塗漆	N-65	-1		1
4	素材	塗漆	N-20	-1		3
5	素材	3DCコンテンツ	ボーダータイル ブラウン	-900003838		4
6	建具	3DCコンテンツ	玄関鏡子ドア_C_W1240_H2330	-900004726		1
7						

■PDF

専用コマンドの「プレゼンボード」の「パレット」ダイアログに表示される「アフター」の画像を PDF ファイル (.pdf) に出力します。

■イメージ出力

「イメージ」をクリックすると、「画像保存」ダイアログが表示されます。出力したい方を選んで保存場所とファイル名を指定して出力します。



1 内装リフォーム

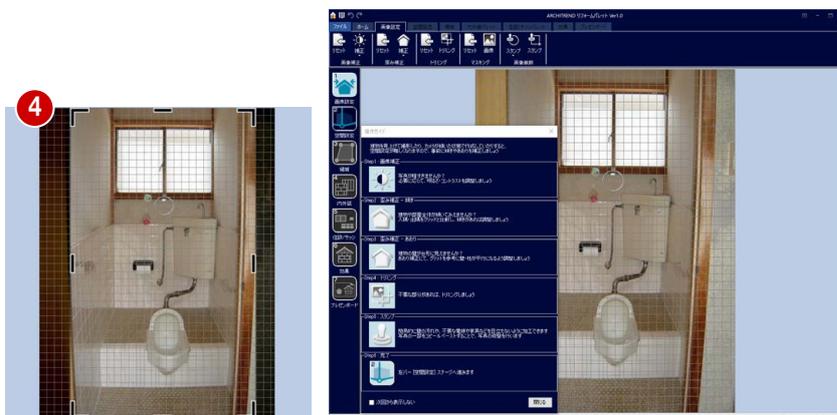
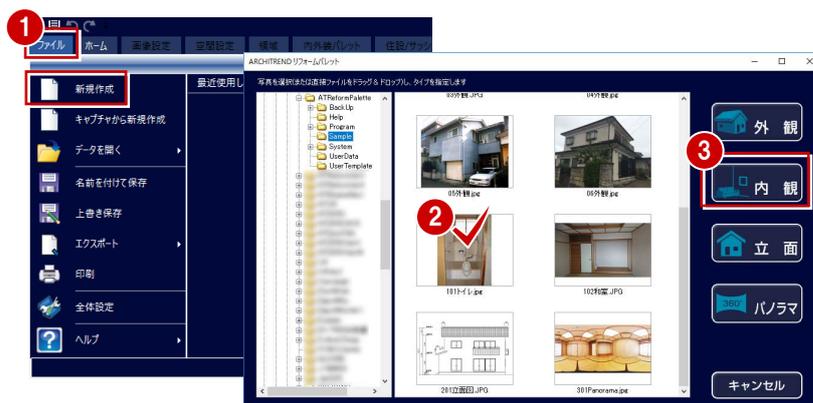
内観の写真を使用して、内装リフォームをシミュレーションしましょう。



起動して写真画像を調整する

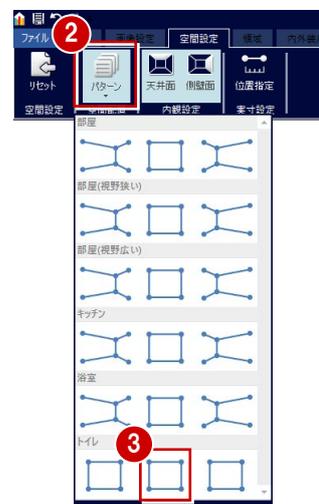
ここではリフォームパレットを起動している状態から新たに内装リフォームのプランを作成してみましょう。

- 1 「ファイル」メニューから「新規作成」を選びます。
- 2 3 現況写真（ここでは101トイレ.jpg）を選択し、「内観」をクリックします。リフォームパレットが起動します。
- 4 外装リフォームと同様の操作で「画像設定」をおこないます。ここでは以下のように設定しています。
歪み補正：傾き：-1、あおり：-10
トリミングは右図のようにします。

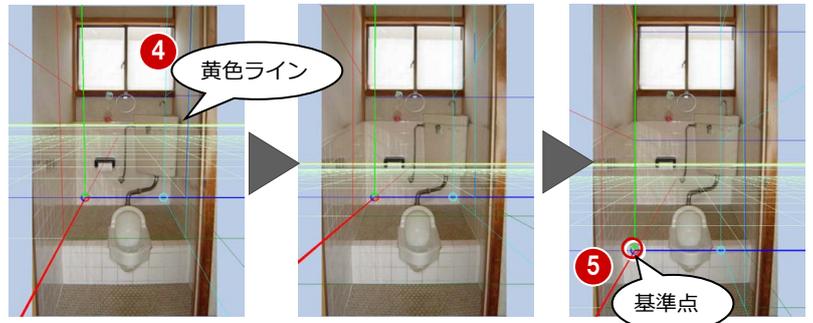


パターンを選んで空間を決める

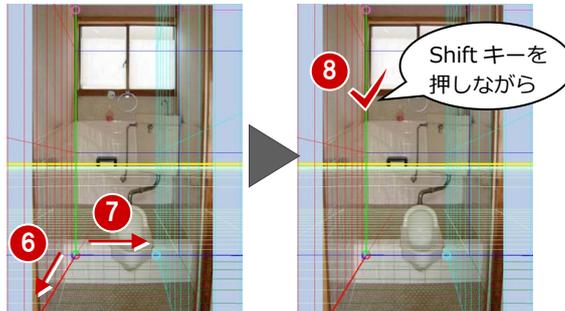
- 1 「空間設定」をクリックします。
※ 外装リフォームと同様に、操作ガイドの手順で空間を設定していきます。
- 2 3 「パターン」をクリックして、トイレのタイプ（ここでは真ん中）を選びます。
※ パターンはいくつかありますが、部屋の大きさや向きなど写真の見え方に近いものを選ぶと、この後の操作で軸の調整がしやすくなります。



- ④ 黄色のラインを地平線の高さを意識してドラッグで移動します。
- ⑤ 基準点も部屋の角にドラッグで移動します。
ここでは、左奥の縦のラインと、左下の床のラインが交差する点をイメージして基準点を置きます。



- ⑥⑦ 赤色・青色ラインを設定します。
ここでは、赤色は床のライン、青色は段差のラインを目安に移動します。
- ⑧ 緑色ラインが垂直になるようにマウスをライン上に移動して、Shift キーを押しながらクリックします。



- ⑨ 「位置指定」をクリックします。
- ⑩ 「実寸設定」ダイアログで実際の寸法の値を入力します。
ここでは窓高を「700」として設定します。
- ⑪ 実寸を設定する2点（ここではサッシの上端から下端まで）を順にクリックします。



- ⑫ 天井面のピンク色ラインをドラッグで移動します。
- ⑬ 「側壁面」をクリックして、水色ラインをドラッグで移動します。

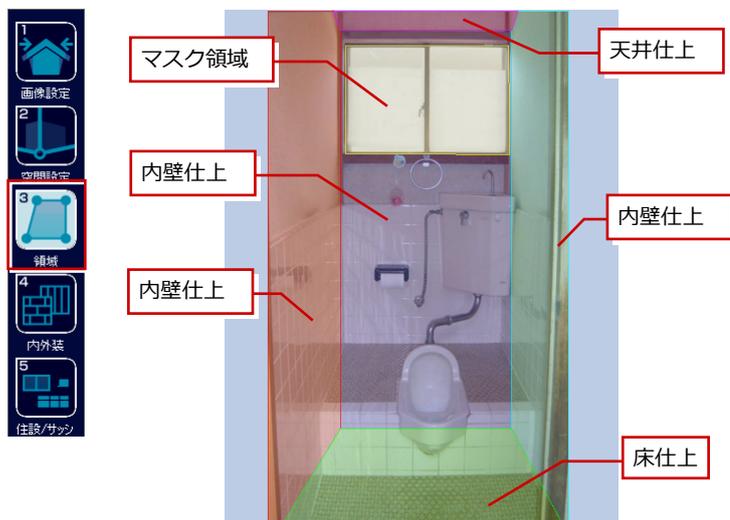


各ライン面に領域を設定する

外装リフォームと同様の操作で、各ライン面に壁の張り替え領域を設定しましょう。
⇒ P.7～P.9 参照

グループを編集する

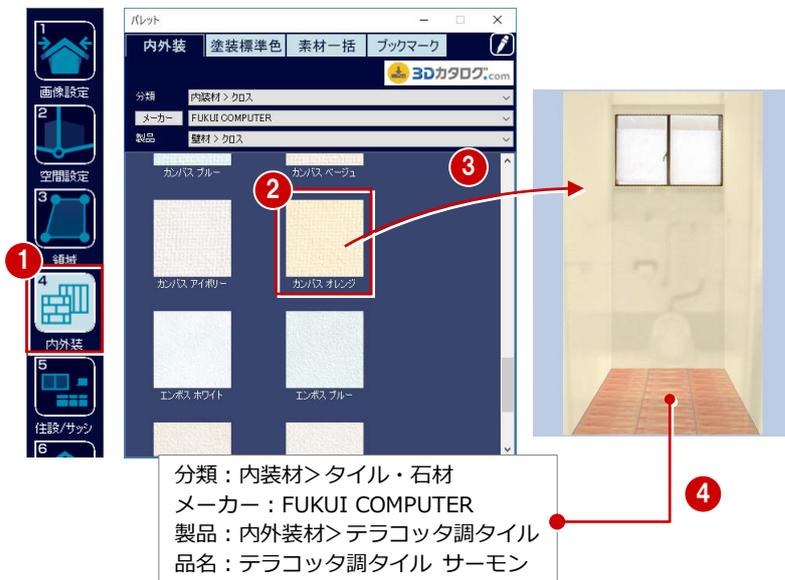
壁と天井の領域をグループ化しましょう。
⇒ P.8 参照



壁・天井・床の素材を変更する

外装リフォームと同様の操作で、壁・天井・床の素材を張り替えましょう。⇒ P.10 参照

- ❶ 「内外装」をクリックします。
 - ❷ 「パレット」ダイアログで素材を選択します。
 - ❸ 壁と天井にドラッグ&ドロップします。
 - ❹ 同様の操作で床にも素材を設定します。
- ※ 必要に応じて目地合わせなど素材を編集します。⇒ P.11、P.12 参照



トイレまわりの部品を配置する

- ❶ 「住設・サッシ」をクリックします。
- ❷ 「パレット」ダイアログでトイレを選択します。
- ❸ 配置位置にドラッグ&ドロップします。同様の操作でペーパーホルダー・手洗い器も配置します。



影をつける

ここでは「写真反映」はOFFにして、「グラデーション」を使って影をつけましょう。⇒ P.14 参照

- ❶ 「効果」をクリックします。
- ❷❸ 正面の内壁を選んで、「写真反映」の「OFF」をクリックします。ここでは全ての面について「写真反映」を「OFF」にします。
- ❹❺ 正面の内壁を選んで、「グラデーション」の「調整」をクリックします。ここでは次の値で設定します。
濃さ：45、比率：20、角度：270
- ❻ 同様にして、他の面についても「調整」の値を変更しながら影を設定します。



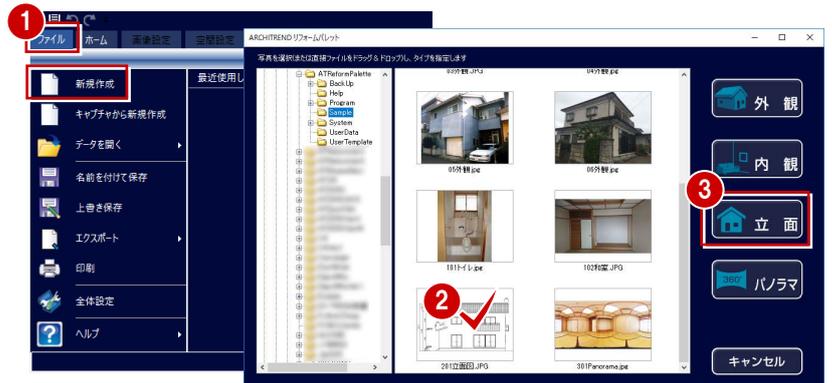
2 立面画像で外装リフォーム

立面画像を使用して、外装リフォームをシミュレーションしましょう。

「立面」を選択して起動する

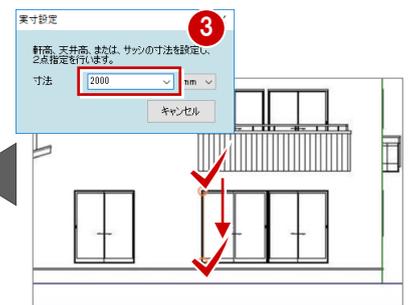
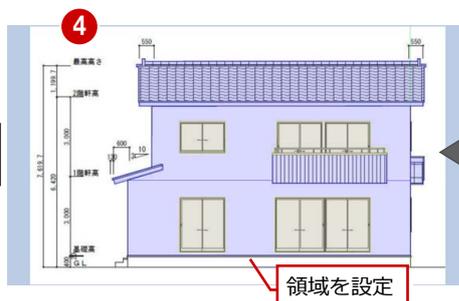
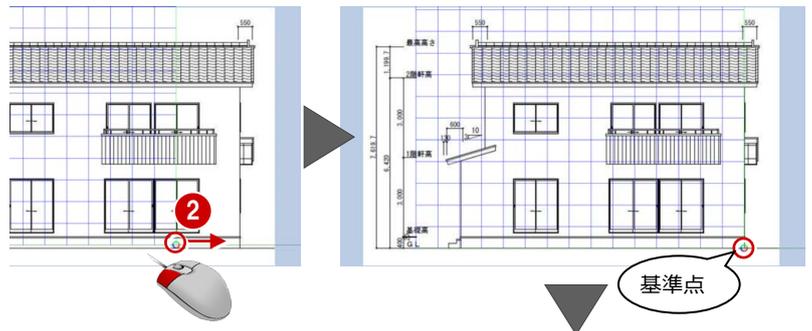
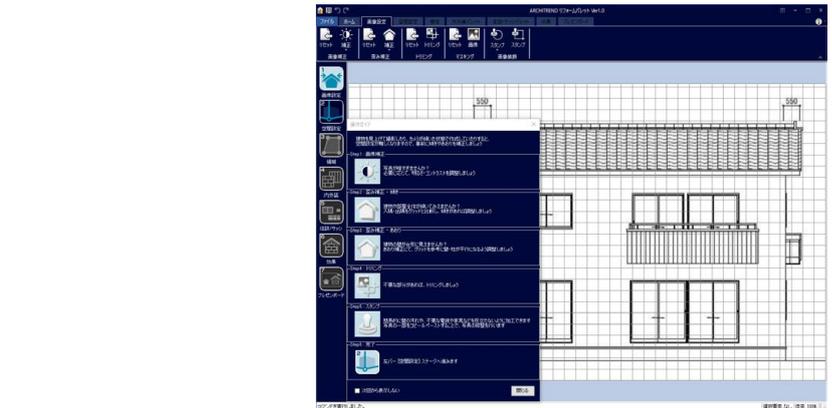
ここでは内装リフォームと同様にして新規作成します。

- 1 「ファイル」メニューから「新規作成」を選びます。
 - 2,3 立面画像を選択し、「立面」をクリックします。
リフォームパレットが起動します。
- ※ ここでは「画像設定」は行わず「空間設定」に進みます。



「空間設定」で基準点を設定する

- 1 「空間設定」をクリックします。
- 2 基準点を建物の右下の角にドラッグで移動します。
- 3 「位置指定」で実寸を指定してサイズを設定します。⇒ P.6 参照
- 4 「領域」をクリックして、張り替え領域を設定します。⇒ P.7~P.9 参照
- 5 「内外装」をクリックして、素材を設定します。⇒ P.10~P.12 参照



3 パノラマ写真で内装リフォーム

ここでは、パノラマ写真の和室を使用してリビングにリフォームし、パソコンのブラウザ画面やスマートフォンでシミュレーション後のイメージを確認してみましょう。



【リフォーム前】



【リフォーム後】

ご注意

パソコンのブラウザ画面やスマートフォンでシミュレーション後のイメージを確認するには、ARCHI Box が設定されている必要があります。

※ ARCHI Box は別途契約が必要です。



【必須動作環境】

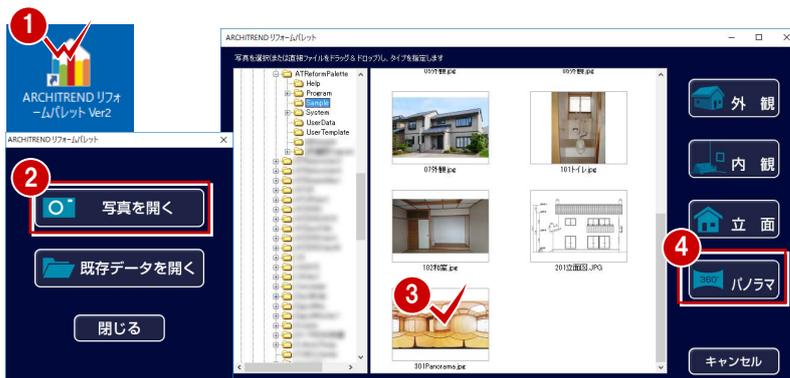
- ・iOS 11.2~11.4 標準ブラウザ
- ・Android 6/7/8 標準ブラウザ
- ※ 機種により正しく動作しない場合があります。



ドラッグで回転

パノラマ写真を選択して起動する

- 1 リフォームパレットのアイコンをダブルクリックします。
- 2 「写真を開く」をクリックします。
- 3 4 現況写真を選択し、「パノラマ」をクリックします。
リフォームパレットが起動します。



※ ここでは ATReformPalette¥Sample フォルダ内の「301Panorama.jpg」を選択します。

6面の展開の位置を調整する

パノラマ写真を使用したリフォームでは、この後の「空間設定」で画像を6面に展開して操作していきます。ここでは、その際の展開の傾きや位置を設定しましょう。

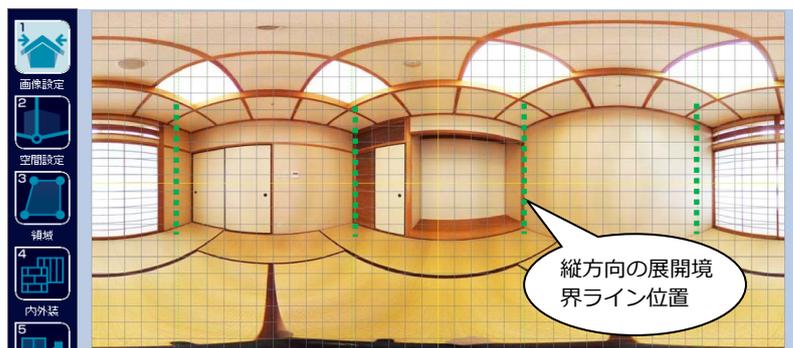
- 1 「歪み補正-傾き」「歪み補正-位置」を設定します。

ここでは床の間がある面を基準にして、以下のように設定しています。

歪み補正：傾き：3.3、位置：4.4

6面の展開の位置が設定されます。

※ 大きな面がパノラマ展開で分割されないような位置調整をすると仕上げやすくなります。



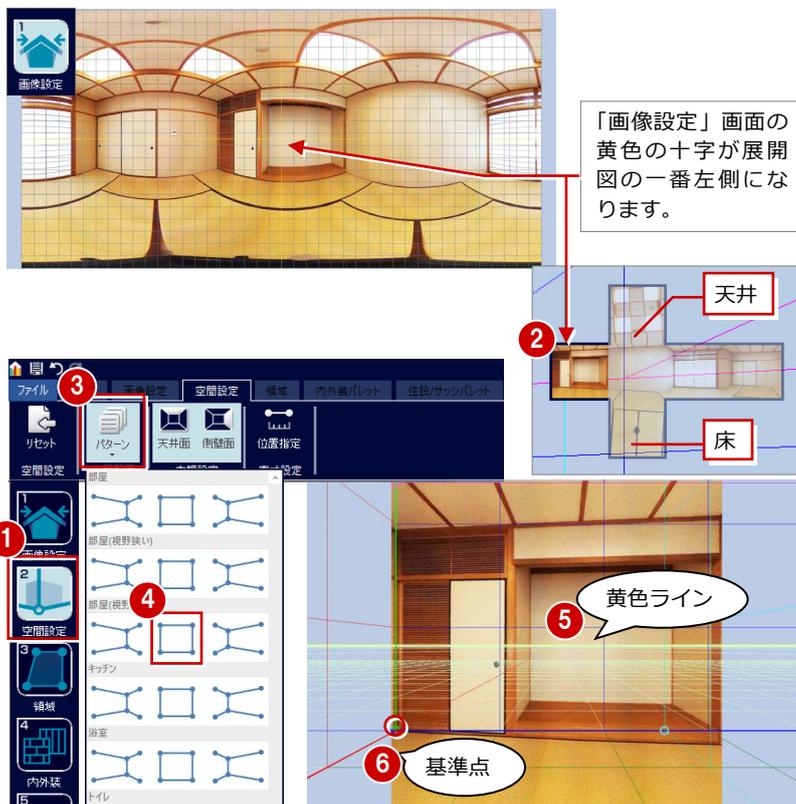
縦方向の展開境界ライン位置

空間を設定する

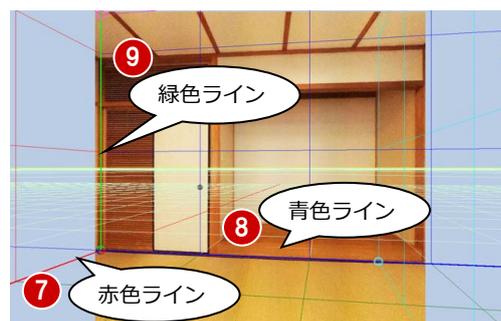
「画像設定」で設定した展開の位置によって、6面の展開図が表示されます。天井と床を除く4面の空間を設定していきましょう。

－展開図1つ目の空間を設定する－

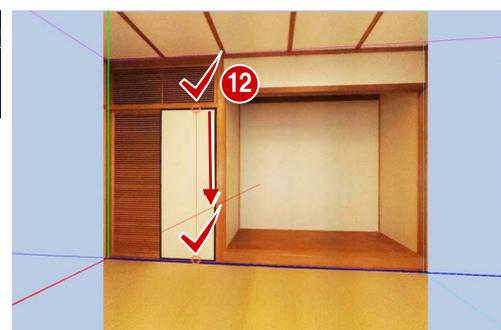
- 1 2 「空間設定」をクリックして、展開図の一番左が表示されていることを確認します。
- 3 4 「パターン」をクリックして、展開された範囲に合わせてタイプを選びます。ここでは「部屋（視野広い）」の真ん中のタイプを選びます。
- 5 地平線の高さを意識して黄色ラインをドラッグで移動します。
- 6 基準点も部屋の角にドラッグで移動します。



- 7 8 赤色・青色ラインを設定します。
- 9 緑色ラインが垂直になるように調整します。



- 10 「位置指定」をクリックします。
- 11 「実寸設定」ダイアログで実際の寸法の値を入力します。ここではふすまの高さを「1800」として設定します。
- 12 実寸を設定する2点（ここではふすまの上端から下端まで）を順にクリックします。

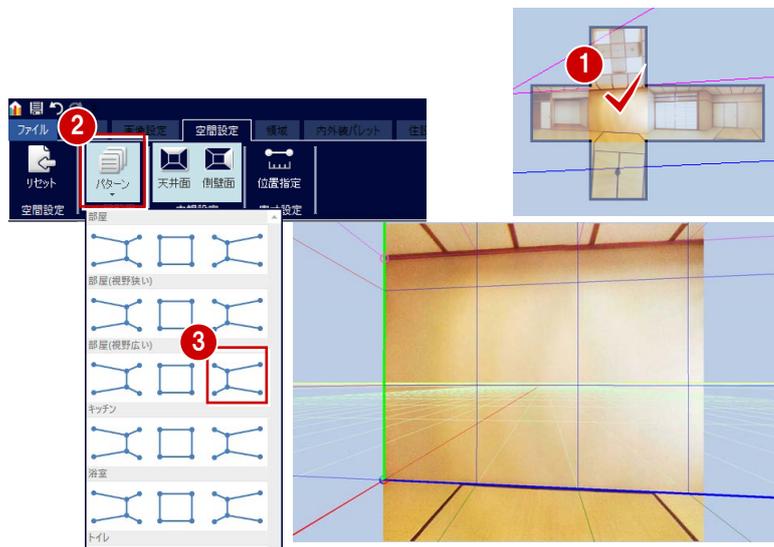


- 13 14 天井面のピンク色ライン、「側壁面」の水色ラインをドラッグで移動します。

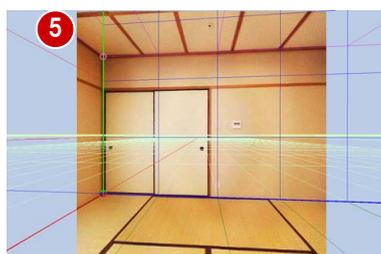


－展開図 2 つ目の空間を設定する－

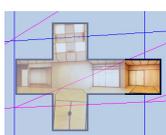
- ① 展開図の次の面をクリックして表示を切り替えます。
- ②③ 「パターン」をクリックして、展開された範囲に合わせてタイプを選びます。
ここでは「部屋（視野広い）」の8帖間を選びます。
- ※ 以降の操作は、一つ目の空間設定の⑤～⑭を行います。
- ④⑤ 同様の操作で3つ目の展開図、4つ目の展開図の空間設定を行います。
- ※ 展開図の天井と床は位置指定のみ行います。



【展開図 : 3】

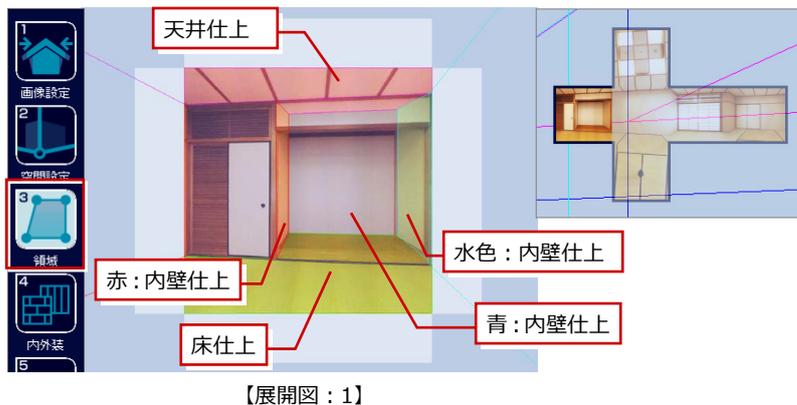


【展開図 : 4】

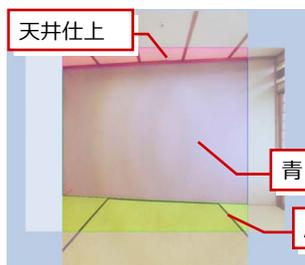


領域を設定する

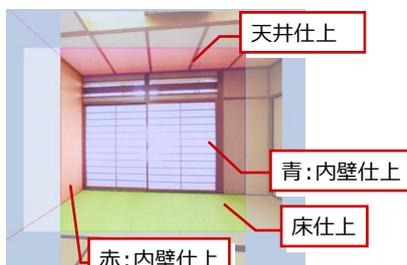
各展開面に素材の張り替え領域を設定しましょう。⇒ P.7～P.9 参照



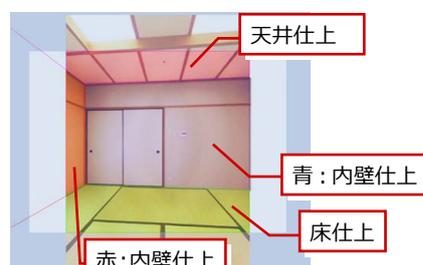
【展開図 : 1】



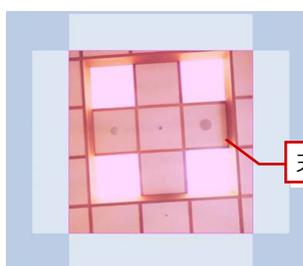
【展開図 : 2】



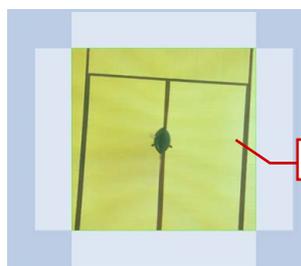
【展開図 : 3】



【展開図 : 4】



【展開図 : 天井】

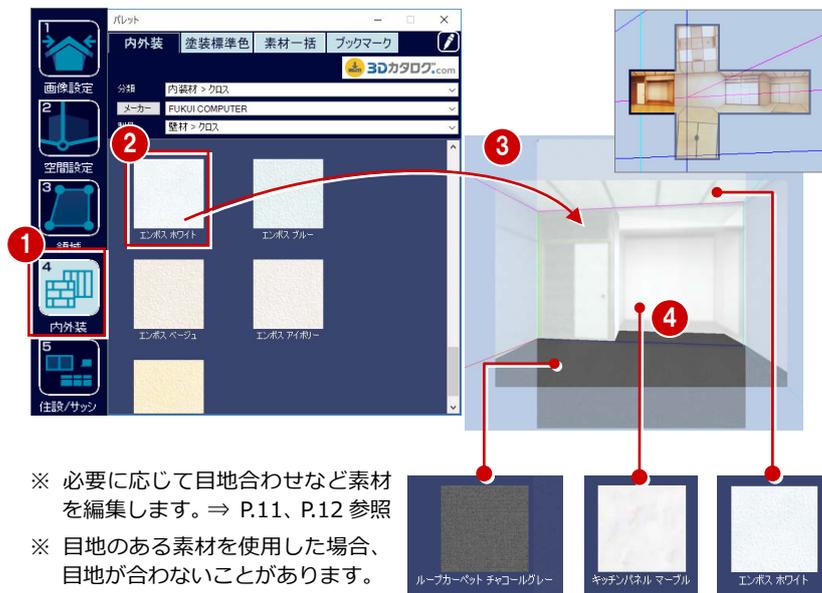


【展開図 : 床】

壁・天井・床の素材を変更する

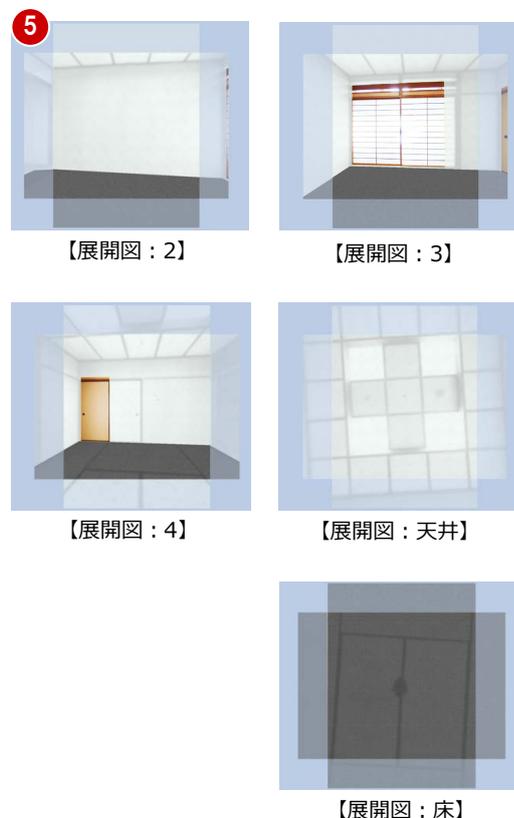
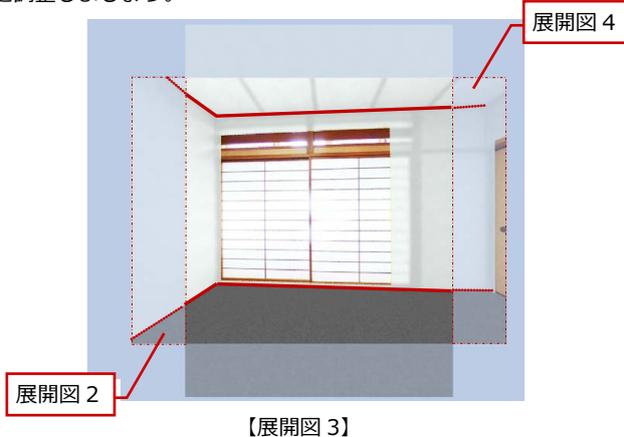
外装リフォームと同様の操作で、壁・天井・床の素材を張り替えましょう。⇒ P.10 参照

- ① 「内外装」をクリックします。
- ② 「パレット」ダイアログで素材を選択します。
- ③ 右側の壁にドラッグ&ドロップします。
- ④ 同様の操作でその他の壁や天井、床にも素材を設定します。
- ⑤ 展開図 2、3、4、天井、床についても同様の操作で素材を設定します。



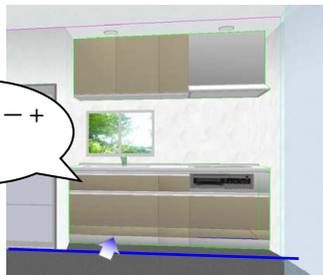
素材の張り替え後について

天井や床のラインは、隣り合う展開図を見ながら、ずれや角度などを確認します。なめらかにつながっていない場合は、「領域設定」に戻って領域の範囲を調整しましょう。

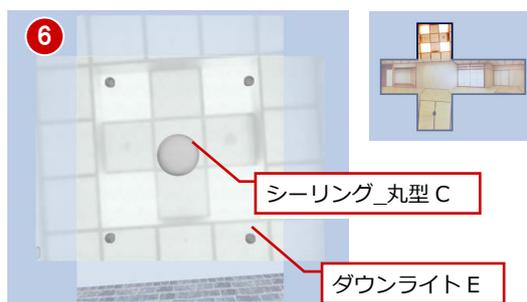
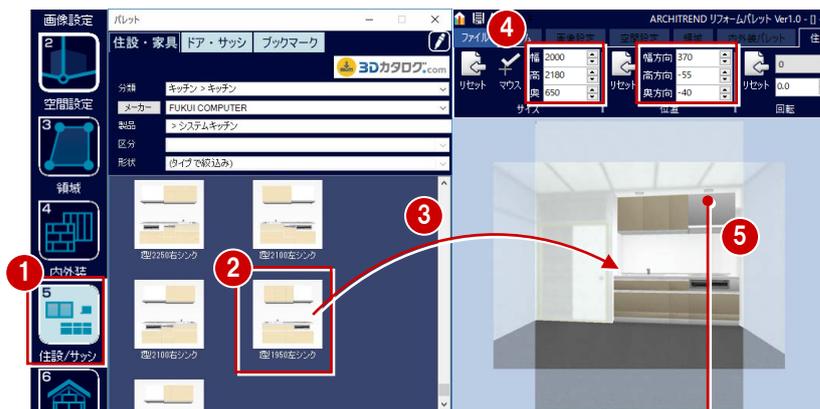


部品を配置する

- ① 「住設/サッシ」をクリックします。
 - ② 「パレット」ダイアログでシステムキッチンを選択します。
 - ③ 配置位置にドラッグ&ドロップします。
- ※ 赤色、青色などのラインより奥に部品を配置する場合は、Shift キーを押しながらドラッグします。⇒ P.13 参照



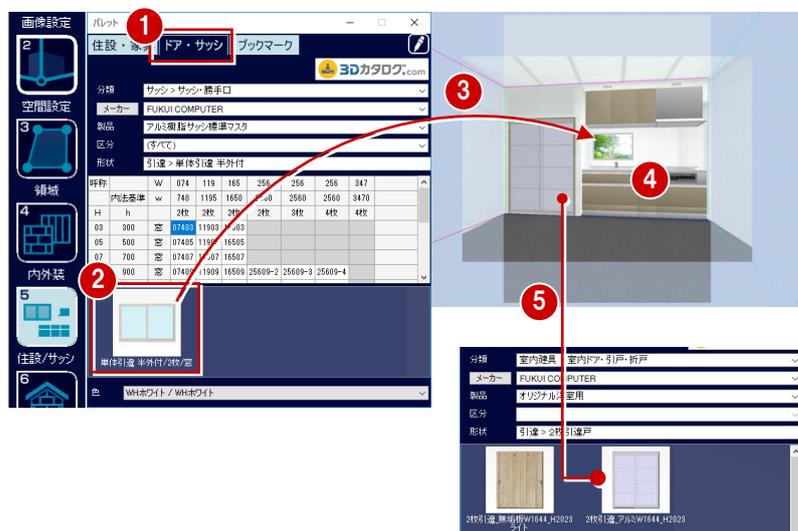
- ④ 「サイズ」や「位置」などで配置位置を調整します。
- ⑤ 同様の操作でスポットライトも配置します。
- ⑥ ここでは、展開図天井にも室内照明を配置します。



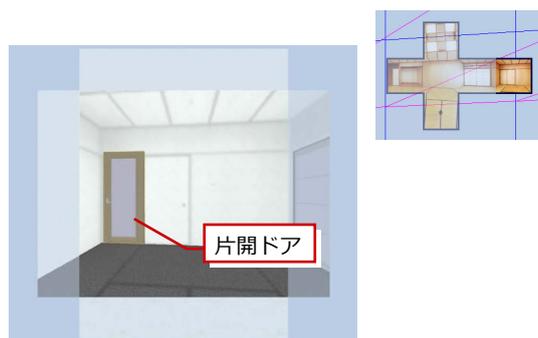
【展開図：天井】

建具を配置する

- ①② 「パレット」ダイアログの「ドア・サッシ」を選び、建具を選択します。
 - ③ 配置位置にドラッグ&ドロップします。
- ※ 赤色、青色などのラインより奥に建具を配置する場合は、Shift キーを押しながらドラッグします。
- ④ ガラス面を編集します。⇒P.13 参照
 - ⑤ 同様の操作でキッチン横の建具を配置します。
- ※ 建具の厚みが目立った場合は、「サイズ」の「奥」の値を 50 くらいに調整します。
- ⑥ ここでは、展開図 3・4 にも建具を配置します。



【展開図：3】



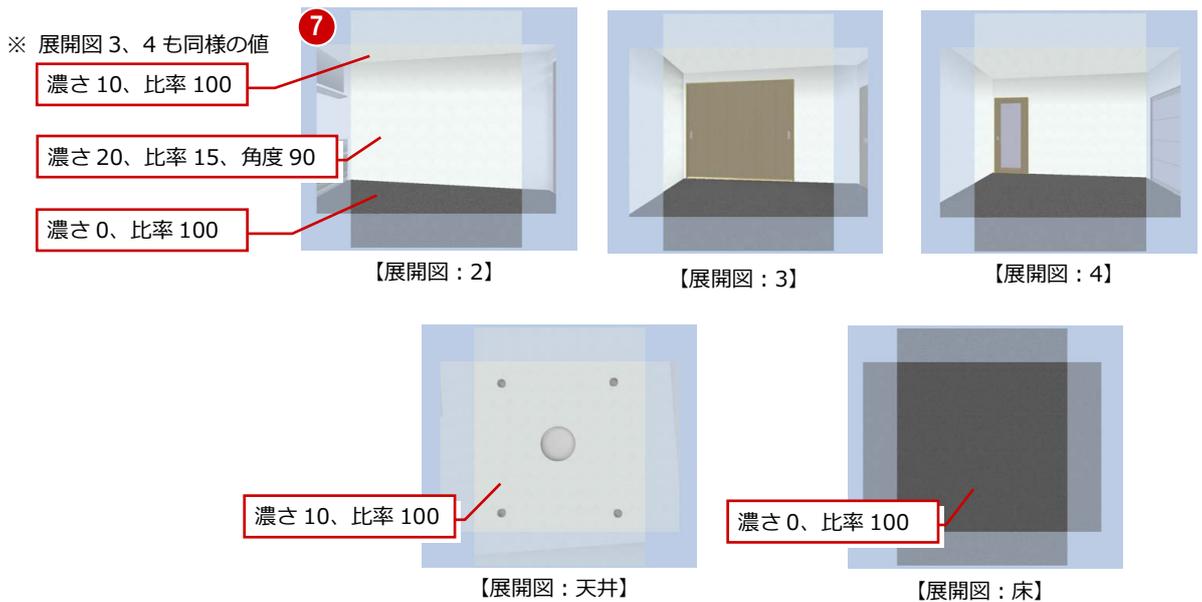
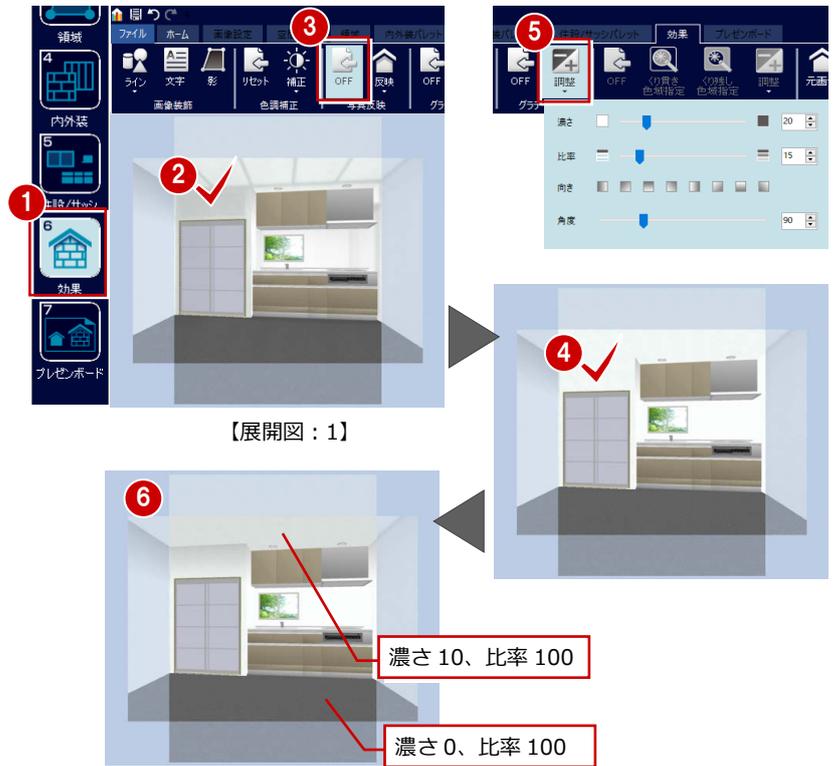
【展開図：4】

影をつける

ここでは「写真反映」はOFFにして、「グラデーション」を使って影をつけましょう。

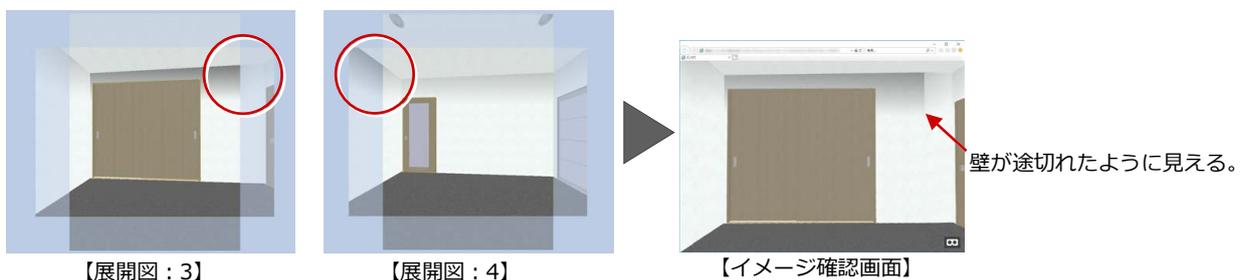
⇒ P.14 参照

- ① 「効果」をクリックします。
- ②③ 展開図 1 の壁を選んで、「写真反映」の「OFF」をクリックします。
その他の壁や天井、床も「写真反映」を「OFF」にします。
- ④⑤ 壁を選んで、「グラデーション」の「調整」をクリックします。
ここでは次の値で設定します。
壁：濃さ 20、比率 15、角度 90
- ⑥ 同様にして、その他の壁や天井、床についても「調整」の値を変更しながら影を設定します。
天井：濃さ 10、比率 100
床：濃さ 0、比率 100
- ⑦ 展開図 2、3、4、天井、床についても同様の操作で影を設定します。



現在表示している展開面だけでなく、接する面の影のつながりを考慮して設定すると、自然な仕上がりになります。

つながりを考慮せず設定した場合

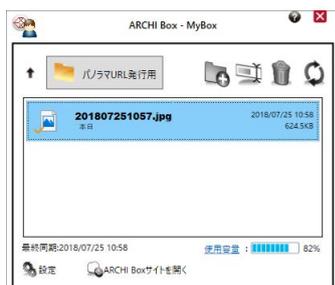


リフォーム後を確認する

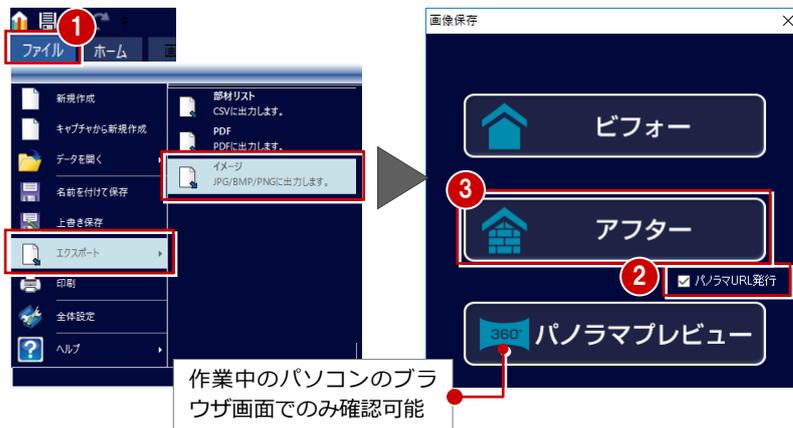
URL を発行してリフォーム後のイメージを確認しましょう。

－パソコンのブラウザ画面で確認する－

- 1 「ファイル」メニューから「エクスポート」の「イメージ」を選びます。
- 2,3 「パノラマ URL 発行」を ON にして、「アフター」をクリックします。
ARCHI Box の「MyBox」のダイアログに、画像ファイルが格納されます。
※ ファイル名は「作成日時.jpg」になります。

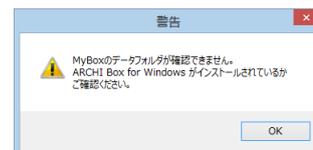


- 4 ARCHI Box に登録されているメールアドレスに画像公開メールが届きます。
メール内の URL をクリックするとブラウザの画面で確認できます。



ARCHI Box の登録がない場合

右図のような確認画面が表示されます。
ご契約と設定を行っていただく必要があります。



差出人：TREND Net System <tn_system@po.fukuicompu.co.jp>

送信日時：2018年7月25日水曜日

宛先：●●●●●@●●●●●.co.jp

件名：【TREND Net】パノラマ画像を公開しました。201807251830

パノラマ画像を公開いたしました。
201807251830

下記 URL より確認できます。 ※ スマートフォンなどではVRでご覧いただけます！

<https://www.fc-trend.net/builders/file/panorama/index/101/f30642ed3a3f47179f9ac9407736c238>

公開期間：2018/07/25 ~ 2018/10/25



－スマートフォンで確認する－

- 1 パノラマ画像公開メールをスマートフォンに転送します。
※ ARCHI Box に登録したメールアドレスが、使用するスマートフォンの場合は、メール転送の必要はありません。
- 2 URL のリンクをタップするとパノラマ画像が表示されます。

1

メールを転送



簡易 VR 体験を行うには

スマートフォンと簡易 VR ゴーグルを使用して 360 度簡易 VR を体験することができます。



【簡易 VR ゴーグル】

- 1 スマートフォンに表示される切り替えボタンをタップします。
VR 確認用のビューに切り替わります。



- 2 スマートフォンを簡易 VR ゴーグルにセットします。

- 3 簡易 VR ゴーグルを通して、VR を確認します。

